

# 高知県久礼川で採集されたミナミイソハゼ

高橋弘明<sup>1</sup>・近藤英文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>株式会社 相愛



写真1 *Eviota japonica* Jewett and Lachner, 1983 ミナミイソハゼ (BSKU131594)

## 種の記録

Gobiidae ハゼ科

*Eviota japonica* Jewett and Lachner, 1983

ミナミイソハゼ (写真1)

標本 高知大学工学部海洋生物学研究室魚類標本 (BSKU131594)

採集年月日: 2022年7月29日. 採集場所: 高知県高岡郡中土佐町久礼 久礼川河口. 採集方法: タモ網. 全長 23.7mm, 標準体長 19.6mm.

## 種の特徴

体型は寸胴でやや側扁する。吻は短く頭部は丸みを帯びる。第1背鰭第1棘は糸状に長く伸びる。腹鰭の鰭膜はほとんど発達しない。体色は透明感のある黄緑色で頭部側面から顎、頬部および鰓蓋周辺に茶褐色の雲状斑紋が、胴部と背鰭、臀鰭、尾鰭に鮮やかな橙色斑が密に分布する。胸鰭基部後方から尾柄にかけての体側に暗色横帯があり肛門前の横帯3本は腹部に達する。眼の後方の頭部側面に2暗色斑がある。背鰭7棘9軟条, 臀鰭1棘8軟条。胸鰭15軟条, 腹鰭1棘5軟条。

## 備考

分類体系は鈴木ほか(2021)に準拠した。本種は三重県尾鷲以南の太平洋沿岸から琉球列島にかけての河口域や内湾の湾奥, サンゴ礁域の礁原に生息する(明仁ほか, 2013; 鈴木ほか, 2021)。高知県内では横浪半島と土佐清水から記録されているが(明仁ほか, 2013), 分布や生息状況の詳細については明らかでない。高知県内の河川からは初記録となる。

## 引用文献

明仁・坂本勝一・池田裕二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 東京. 1347-1608, 2109-2211.

鈴木寿之・渋川浩一・矢野維幾. 2021. 新版 日本のハゼ. 平凡社, 東京. 584pp.

(2022年8月19日受理, 2022年8月27日公開)

連絡先: 高橋弘明 (e-mail: h.takahashi@soai-net.co.jp)

(Hiroaki Takahashi and Hidefumi Kondo. 2022. Record of *Eviota japonica* from Kurenokawa River in Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 22006)